

2019.12.19(木)
第24回例会
(通算 3577回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知ってより大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860
		📠	0154-24-0411

2019-2020年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー
第2500地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ	疾病予防と治療月間
本日のプログラム	釧路ロータリーカップアイスホッケー大会報告会 (担当：青少年委員会)
次週例会	令和元年釧路ロータリアン重大ニュース報告会 (担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：「我等の生業」
- ソングリーダー：浅川 正紳君
- 会員数 101名
- ビジター なし
- ゲスト
 - 釧路市共同募金委員会 釧路地区委員会会長 富安 邦子様
 - 釧路市社会福祉協議会 総務会係長 齋藤 猛様
 - NHK 釧路放送局 副局長 上杉 慎二様
 - 第28回釧路ロータリーカップ兼第6回北海道高校アイスホッケー大会実行委員長
北海道釧路工業高校 教諭 田村 郁夫様
 - 第28回釧路ロータリーカップ兼第6回北海道高校アイスホッケー大会実行委員
北海道釧路工業高校 教諭 土居 功弥様

■ニコニコ献金

- 浅野 清貴・・・いただきました！ありがとうございます。
- 芦名 健一・・・釧路での初めてのクリスマス家族会、大変気持ちがあたたかので楽しい充実した時間でした。
- 五十嵐正弘・・・台北から無事帰国できました。とてもおいしい料理でした。
- 池田いずみ・・・ありがとうございます。函館楽しんできます。
- 石鍋 斉・・・今年も楽しいクリスマスとなりました。単身のため、改めて家族を大事にしようと思いました。
- 泉 敬・・・有り難うございます。
- 及川 雅順・・・クリスマスで景品が当たりました。
- 尾越 弘典・・・ありがとうございます。
- 小野寺 俊・・・お食事券いただきました。美顔器で美しくなって新宿2丁目に行きます！
- 木下 正明・・・ありがとうございます。
- 木下 久子・・・ありがとうございます。
- 工藤 彦夫・・・ありがとうございます。
- 熊谷 任明・・・ありがとうございました。メリークリスマス！
- 熊谷 綾・・・ありがとうございました。
- 後藤 公貴・・・ありがとうございます。
- 五明 正吉・・・当たった！
- 佐藤 貴之・・・ありがとうございました。
- 佐藤友梨子・・・ありがとうございます。
- 白幡 博・・・ありがとうございます。

杉村 莊平・・・蜂蜜頂きました。ありがとうございます。ドライブレコーダーを有り難うございました。

杉浦 裕之・・・クリスマス家族会のご盛会おめでとうございます。毎日、純水でラーメンいただきます。

邵 龍珍・・・飛賞 50 位ありがとうございました。

金 玉順・・・お米券ありがとうございました。

須藤 隆昭・・・初参加で 7 億円の夢、当たりました。ありがとうございます。

武久 晋治・・・ありがとうございます。

土橋 賢一・・・無事、台湾から帰ってまいりました。寒かった～。細かいのないので 1 万円入れました。

得地 哉・・・司会だったのに 72 位。ありがとうございます。

萩原 国彦・・・プレゼントありがとうございます。

樋口 貴広・・・福司、純水ラーメンありがとうございます。

羽田野貴志・・・一位ありがとう。

古谷 守生・・・ケンタッキーと純水ラーメン当たりました。本日は皆様お疲れ様です。

松井 聖治・・・メリークリスマス！

水口 喜文・・・台北楽しんできました。景品頂きました。

村上 祐二・・・コレじゃないやつがいい（電動歯ブラシ）

村上 千尋・・・今日はありがとうございます。ワインいただきました。

吉田 潤司・・・ありがとう。

脇 弘幸・・・楽しい年末クリスマス家族会、ありがとうございます。

佐藤 尚彦・・・クリスマス例会、お疲れ様でした。

天方 智順・青田 敏治・荒井 剛・伊貝 正志・泉 圭子・市橋多佳丞・川合 隆俊
川合 幸枝・木村 豊年・黒田 恒史・小船井修一・清水 幸彦・清水 輝彦・杉山 宏司
関向 一・田中 正己・中島 徳政・西村 智久・西村 良重・馬場 雅嗣・濱谷美津男
舟木 博・本間 榮一・前田 秀幸・吉田 敦子・吉田 秀俊・吉田 英一

今年度累計 583,000 円

会長の時間

今日は、少し迷っていた挨拶があります。子供たち達の健全な育成に関すること、資することということで、1 つネタを見つけてまいりました。

釧路市立城山小学校が来年 100 周年を迎えます。



旧制尋常小学校で 100 周年が初めてです。城山小学校・第五尋常小学校で、第 1 から第 4 までが全て統合してしまいましたので、旧背番号 5 番で 100 周年を迎えることになります。湖畔小学校が昨年 100 周年を迎えられましたが、元々は太平洋炭鉱で働く人の子供たちを学ばせる私立学校ということで、昔はそうではなかったらしいです。もっと言えば、鳥取小学校の方が早いのです。でも、当時は鳥取町立鳥取小学校でしたから、釧路市立になってからはないのです。とい

うことで、多分、旧尋常小学校で 100 周年を迎えるのは城山が初になります。

その協賛会長に小船井会員がなられます。私が副会長としてもしかしたら皆さんのところにまたお金をセビリに行くかもしれません。聞くところによりますと吉田潤司会長も城山小学校の卒業生だそうです。私自身も城山小学校卒業生ですが、昭和 45 年に入学して 6 クラスでしたが 6 年生のときに 4 クラスになりました。私の娘も息子も城山小学校です。そのときは全で一学年一問口で、1 クラスが 30 人くらい、それが 6

クラスですから全校生徒が 180 人くらい。

先日、現在の城山小学校の校長とお話をする機会があり、いろいろな話をさせていただきましたけれども「来年は多分 120 人体制になる」というお話です。大きな勢いで人口減です。城山だけではないですけど、例えばいま、景雲中学校校区では愛国小学校が釧路市教育委員会の小学校では一番大きいです。でも直近で言うと、昭和 40 年や 42 年生まれの方の人口といまの小学校 6 年生の人口では、半分くらいになっている

のではないかと思います。

ホッケーのお話ですけれど、田村先生は「段々ホッケーの人口も減っている」と。そういうことで、「氷都釧路」を標榜する歴史も伝統もあるホッケー釧路の街も競技者が少なくなってしまうのではないかと考えております。やっぱり、子だくさんの人っていいなとつくづく思います。だから五明さんを尊敬しているのかなと思います。

こういうこともあって、今後のロータリーカップのことなども段々と人数が少なくなっていくのが来るのではないかと考えております。

以上、前座といたしまして、後は田村先生、土居先生にお任せしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金進呈

釧路市共同募金委員会

釧路地区委員会 富安 邦子会長



皆さま、こんにちは。一言お礼の挨拶をさせていただきます。ただいま、天方智順会長より赤い羽根共同募金運動へ多大なるご寄付を賜りまして誠にありがとうございました。

誠にありがとうございました。

釧路ロータリークラブの皆さまには、毎年この12月の例会の席におきまして共同募金委員会に温かいお気持ちとご協力を賜り感謝申し上げます。

昭和22年に始まりました共同募金運動は、昭和・平成・令和と73年間続いてまいりました。

これからも市民の皆さま方へのご理解ご協力をお願いするために、次世代の方々へのご理解を得るように、これからもがんばってまいりたいと思っております。



10月1日の街頭募金から始まりました赤い羽根共同募金も12月31日までとなりました。釧路地区の今年度の目標額は、1,400万円です。目標額に向かって募金運動を展開しておりますが、皆さま方には法人募金、また町内会の戸別募金などを重ねて、多大なるご寄付を賜っております。皆さまから寄せられました募金は、審査会において審議を重ね、交付金の助成をやっていきたいと思っております。

皆さまにこれからもご協力とご理解を賜りますよう

に、また今日はこのお礼の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

歳末助け合い募金進呈

北海道新聞釧路支社 菅原 淳支社長

毎年このような浄財をありがとうございます。北海道のいろいろな分野にしっかりと役立てたいと思っております。どうもありがとうございました。



NHK 釧路放送局 上杉 慎二副局長



■本日のプログラム■

釧路ロータリーカップアイスホッケー大会報告会

釧路工業高等学校教諭 田村 郁夫実行委員長

釧路工業高等学校教諭 土居 功弥実行委員



皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました釧路工業高校の田村郁夫です。本大会の実行委員長を務めさせていただきました。こちらは、本校アイスホッケー部顧問であり、本大会の実行委員を務めました土居功弥教諭です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、釧路ロータリークラブ例会の中で、貴重なお時間をいただき大会報告ができますことに感謝申し上げます。早速ではありますが、今年度も私ではなく、土居先生監修の下、大会の様子を少し映像にまとめましたので、まずそちらをご覧くださいと思います。

(アイスホッケー大会 DVD 鑑賞)

ご視聴ありがとうございました。

それでは、私から本大会の報告とお礼を述べさせて

いただきます。映像にてご覧のとおり、優勝が釧路江南高校、準優勝が武修館高校、第3位が清水高校という上位の結果となりました。この大会においては、3大会ぶりに地元釧路の高校が優勝旗を手にし、決勝戦の江南高校と武修館高校の試合は、拮抗した展開で進み、試合終了18秒前に決勝点が決まるという劇的な幕切れとなりました。また同じく最終日には、釧路工業高校が3位決定戦にも進出することができ、多くの観衆の方がリンクに詰めかけてくれました。

全チーム合わせて選手・スタッフ含め総勢236名の参加となりました。参加チームの顔ぶれには変更はありませんでしたが、各チームの奮闘もあり例年になくレベルの高い試合が数多く見られました。また先ほどの映像にもありましたが、釧路連合も東高校・釧路高専そして釧路湖陵高校と3校合わせて7名という大変少人数で厳しいチーム編成ではありましたがオープン参加という形で1回戦を釧路工業高校と試合をすることができました。釧路のアイスホッケーに携わる全ての選手が参加し、貴重な経験を積めたことは本大会における目的のひとつを果たせたのではないかと考えております。

さて、本大会の開催にあたり、天方会長をはじめ窓口となってご尽力いただきました池田青少年奉仕委員会委員長、そして会員皆さまからの多大なるご理解とご支援を賜り、準備段階から大会終了まで無事終えることができましたことに深く感謝申し上げます。また当日も試合観戦から閉会式まで長時間にわたりご出席くださり、重ねてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

少しロータリーカップの話とは離れてしましますが、ご存じの方も多いと思いますが、先週末に釧路で「全道大会」が開催されました。地元勢は、武修館高校が準優勝、江南高校がベスト8、釧路工業と釧路連合は1回戦敗退という結果に終わり、来月の全国大会には武修館高校と江南高校の2校のみが出場する結果となってしまいました。本校に至っては、4年ぶりに全国大会の出場権を逃してしまい、応援していただいた多くの期待に応えられず申し訳なく思っております。

そんな中ではありますが、この全道大会に参加した釧路連合チームを指導しております釧路東高校の大島先生がこの大会をもって高校アイスホッケーの指導から引退ということで、ラストゲームとなりました。大島先生と言えば、長年にわたり釧路の高校アイスホッケー界に尽力していただき、江南高校時代には全国優勝も果たされた大ベテラン監督であり、名伯楽の先生です。この釧路ロータリーカップの発足にあたっては当時、大島先生や現在東高校の校長であります澤崎先生が中心となって、ロータリークラブの方々にご相談申し上げ、クラブ役員の方々のご理解とご協力を得て

実現にこぎ着けたものと伝え聞いております。

大会発足当初の「多くの選手に出場機会を与え、競技の普及発展を目指す」という根本的な考えは様々な形式を変えながらではありますが、いまの大会にも継承されているところであります。28年間という長期間にわたり釧路ロータリークラブの皆さま方には、本大会の実施にあたり温かく見守っていただき、またご支援を賜り本当に感謝申し上げます。

多くの選手が実践的な経験を積み、技術力や精神力を向上させ、チーム力の底上げを図ること。また様々な人たちに支えられ環境が整いアイスホッケーができるという感謝の気持ち、そういった気持ちを醸成するといった健全育成の面から考えても本大会釧路ロータリーカップが果たしている意義には大変素晴らしいものがあります。

最後になりますが、大会を継続した実現を叶えるために会員皆さま方からのご理解とご支援を今後もいただけますよう実行委員会を中心となってがんばっていく所存です。次年度以降の開催につきましても何卒お願い申し上げます。

本日は、このような場を設けていただきまして誠にありがとうございました。

以上です。

青少年奉仕委員会 池田 優委員長

以上をもちまして、『第6回東北海道高校アイスホッケー大会兼第28回釧路ロータリーカップアイスホッケー大会』の報告とさせていただきます。尚、田村先生と土居先生はこのあと授業がございますので、この場で退席しますのでよろしく願いいたします。ありがとうございました。

『台北中央ロータリークラブ周年事業訪問報告』

国際奉仕委員会 村上 祐二委員長



本年度、国際奉仕委員会委員長の村上でございます。私から早速報告をさせていただきます。

本年度台北中央ロータリークラブ創立34周年記念式典に

21名をもって参加をさせていただきました。

12月6日の朝、6時台のJALで羽田空港を立って台北の松山空港に到着しました。空港に到着すると、ティコ会長やヘンリーさん、ブライアンさんをはじめ台北中央ロータリークラブの皆さんにお出迎えをいただきました。「今年からお土産交換をやめよう」とブライアンさんから提案がありました。こちらも再三確認をして、「本当にお土産交換はないのですね。僕ら

は持ってきませんからね。手ぶらで来ますから」、「手ぶらでいいのだ。手ぶらで来てくれ」と。天方会長にも確認をとって手ぶら・丸腰で伺いました。

そうしたら、ヘンリーさんがお土産を持って来ているのです。あれ、まずいぞ、手ぶらの天方会長にお土産をたくさん渡されてしまう、というところからこの旅が始まりました。私、委員長としては、なんとか早く時間が過ぎないかと思っておりました。

用意していただいたバスに乗って昼食会場に早速向かいます。皆さんはいま、つまらそうな顔をしていますけれども、昼食会場はかの有名な『ディンタイフォン』です。ニューヨーク・タイムズ誌で世界の人気レストラン10店に選出。「台湾へ行くなら『ディンタイフォン』」と言われるほど有名なお店です。このディンタイフォンのオーナーとブライアンさんは幼なじみです。以前は「頼むよ、仲間が来るから良い席を取って置いてね」と言うのと「分かった。分かった」と取って置いてくれたらしいのですけれども、最近、このディンタイフォンは世界15カ国に展開しているそうで、「最近忙しくて、全く言うことを聞いてくれない」とぼやいておりました。

それもあって昨年は本店だったのですけれども、今年はフードコートの一部みたいな所でした。これは、事前に少し調べた資料です。『小籠包』といってもたくさんいろいろな種類があると思って楽しみに向かいました。こちらは、横田副委員長です。小籠包が出るまでは、皆さんは「まだかな」「まだかな」という感じで手持ち無沙汰の感じですが、さすがに小籠包、いろいろな種類のもので出てくると皆さん美味しくいただいていたようです。満足していただいたのではないかと思っております。

お店を出て、デパートの前で集合写真を撮ろう、と。よく見ると皆さんの手に紙袋があるので。実はこの直前に、川本さんがお菓子屋さんでケーキを試食して、「これ美味しいね」と言ったら、隣でたまたまパワーさんがそれを聞いていて、お店で人数分を買って、また「プレゼントだ、お土産・お土産」と言って渡されてしまうのです。こちらは手ぶらなのですけれども、そんなこんなで、お土産のことは一旦忘れていただいて。

いよいよ記念式典と晩餐会が始まります。今年の宿泊先と会場が同じアンバサダーホテルということで非常に移動も楽でした。早速、天方会長のご紹介、そして小船井さんもお紹介されておりました。この式典を振り返ると、なにより印象的だったことは、天方会長がスピーチを英語でされたのです。そして拍手喝采の大好評でした。私は前の方で写真を撮りながら全く英語は分かりませんので、なにを言っているのか分からないのですけれども、分かったふりをしてうなずいたり、みんなが笑っているから僕も笑ってみたり、そんな感じでした。

これは、台北中央ロータリークラブのティコ会長です。先ほど天方会長は英語でスピーチをされた後、今度はティコ会長とスペイン語で会話をしていました。聞きましたらスペインに留学をされていたことがあるということで、ちょっと私は驚きました。



今年、台北中央ロータリークラブと福岡東南ロータリークラブが、新しく姉妹締結をされました。今現在は、4つのクラブと姉妹締結をされているという

ことです。

これは晩餐会の模様です。皆さん楽しそうにしています。まだ酔っ払ってはいませんね。この辺からだいぶ怪しくなってきますけれどもでも。皆さんは美味しい料理をいただいて楽しい晩餐会になったのではないかと思っております。ご存じの方もいるかと思いますが、でも最後は、東京音頭で締めということで、天方会長もノリノリです。皆さんも輪に交じってしっかりと楽しく参加できました。

最後、集合写真です。横田副委員長がいつも写真を撮ってくださっていたので、この写真に写っていないと思って上の方に出して置きました、と思ったら実はここにいるのです。編集をされていて気づいたのですけれども、邵さんと小船井さんの間にいて、もうパスト会長みたいな状態で横田副委員長が写っているのには本当にびっくりしました。最初は台湾の方かと思ったのですが、そんな1日目が無事に終わって、ここからが大問題の観光ツアーが始まります。

2日目です。朝9時にホテルをバスで情人湖（じょうにんこ）、恋人の湖と言われている所に向けて出発しました。行く前に私もインターネットでどんな所なのか調べました。すると「東洋のベニスと言われている素晴らしい所」と出てきました。ただ、少し気になったことは、情人橋と書いてあるのです。情人湖に掛かる橋なのだろうということで、情人湖に向かいました。「やっぱり情人湖と書いてある」と思いながら進んで行くと、皆さんが楽しそうに写真を撮ったりして盛り上がり上がってきました。ずっと湖の畔を歩いていたので、この直後に「あれ、湖を一周するぞ、なにか小さくないか」という話になったのです。私も歩きながら、ちょっとインターネットで見ていたのと違う、これはもしかして調べた所と違う所に連れて来られたのかと思っておりました。そうすると誰かが「これ、鶴ヶ岱公園のひょうたん池より小さいのでは」と言い始めました。これが『ひょうたん池』、こうやって見るとひょうたん池の方がきれいだという感じでした。これが情人湖。そうは言っても観光名所ですので、「頂上に行く」と海岸線の景色が見える」というのです。

舟木さんを先頭に、その美しい景色を求めてがんばって行って見ました。東洋のベニスと言われるくらいですから「こんな景色」が私たちを待っているのです。実際に着いて、見ました。東洋のベニスではありません。どちらかという、白糖・音別その次ぐらしいの景色、よく見たことがあるみたいな景色なのです。

ここまで来ると、国際奉仕委員会委員長としては、手ぶらに始まって、東洋のベニスがか、と非常にまわずと思っていたのです。この後の昼食には自信がありましたから、早速バスに乗っていただいて向かった昼食会場が『海竜珠(カイリュウシュ)』という名前の海鮮レストランです。ここは地元市民でも大人気で有名なレストランでした。ここも私は事前にインターネットで調べておきました。台北市内にあるわけではなく地方にある店ですので、たまたまはこんな感じなのです。お店の中は相当広いです。料理もこんな料理が出てくるそうなのです。私も食べたことのないものばかりで楽しみだと思って会場に着きました。

あれ、名前が違う。『海竜珠』と書いていないのです。変だなと思ってガイドさんに付いて行ったのですけれども、店の感じもやっぱり変だ、インターネットで見たものと違うと思っていたら、出てくる料理もなにかおかしいのです。まず、見た目が美味しそうではないのです。天方会長のテーブルでは、なぜか五明さんが味見というか毒味をして、われわれの感想を聞いてから恐る恐る食べるような感じになっていました。「五明さん、どうですか」と言ったら、「う～ん、何だか俺の知らないやつだな、これ」と言うのです。このコメントが怖くてなかなか食べられないのですけれども、どんどん料理が運ばれてくるのです。もう、やや罰ゲームというところでした。

その恐ろしい昼食もなんとか終わって、「十分」と「炭鉱鉄道博物館」という所に向かいました。炭鉱鉄道博物館では、かつてこの炭鉱で財を成した方、日本人ですが、実は「春採炭鉱」を買収して後の「太平洋炭鉱」になったという話も聞きました。また「九分」や「十分」、この辺一帯の土地を持っている人が台北ロータリークラブのヘンリーさんだと。詳しくは木下さんに聞いていただければと思います。

十分はこういう街並みなのですから、有名なのがこの『ランタン飛ばし』です。大きな風船というかランタンに願いごとを書いて飛ばすものです。実際にその映像があります。私たちも飛ばしましたので、ご覧いただければと思います。



(ランタン飛ばし映像鑑賞)

この1日を取り戻すかのように盛り上がりいただきました。ランタン飛ばしに助けられた気がしています。ホテルに戻って最後の晚餐です。こちらは全く問題ありません、北京ダックですから失敗するはずありません。ドラゴンレストランに行きました。大変美味しい料理でした。こちらはジミー・ガバナーエレクトと天方会長ご夫妻。後から気がついたのですけれども、北京ダックではなく『広東ダック』と言うそうです。久しぶりにパワーポイントを使ったのでこのようなことをやってみました。皆さん本当に美味しくいただいて、最後の晚餐も盛り上がり無事2日間の旅を終ることができました。そして何ごともなく無事に帰国をさせていただきました。

なぜかまた来年も周年ですので皆さんとお会いできればと思っています。冗談ばかりになってしまいましたので、最後に少しだけちょっと真面目な話を。

台湾と日本は、戦前・戦中、そして戦後と特別な関係性を築いて来たかと思っております。その中でも2011年、東日本大震災の折には200億円を超える義援金をいただくなど親日国家としても知られております。その台湾に「リップンチェンシン」という言葉があります。リップンチェンシンとは「日本精神」と読んでいるのですけれども、日本人の公正さや勤勉性、思いやりの心、おもてなしの心、そういったことを言い当てている言葉です。

「お土産交換はやめよう」と言っても、「手ぶらで来てね」と言っても、なんとかして釧路クラブの皆さんをねぎらいたい、お土産も用意したい、もてなしたい、とそういう気持ちがこの2日間で非常に感じられました。まさにこのリップンチェンシン(日本精神)を感じる2日間となりました。

最後になりますけれども、皆さんご存じの金美齡(きんびれい)さん、台湾出身です。いま日本人ですが、元台湾総統府国策顧問・その金美齡さんが、とある朝起きてこうおっしゃったと言います。「おはよう」、以上でございます。ありがとうございました。



Return
to
Top

Return
to
Web Site